

令和4年度 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校入学式 校長式辞

双葉の地に光が差し、暖かな春を迎え、広野町の桜も花開き始めたこの佳き日に、ご来賓の皆様と保護者の方々のご臨席を賜り、令和四年度の入学式を挙げていただけますことは、真に喜ばしい限りであり、皆様に深く感謝申し上げます。

ただ今、入学許可しました中学校六十名、高等学校百四一名の新入生諸君、入学おめでとう。そして、ようこそふたば未来学園へ。君たちの入学を歓迎しますとともに、本日まで、お子様を暖かく見守り育ててこられた保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

さて、君たちが入学したふたば未来学園中学校・高等学校は、東日本大震災からの教育復興のシンボルとして、双葉郡の八つの町村を始め、県や国などからご支援をいただき、たくさんの期待を背負い、そして休校となった五つの高校の伝統を引き継いで、震災の四年後に高等学校が、平成の最後、令和が始まる年に中学校が開校しました。

様々な役割を担う本校は、中高六年間を通して学ぶ併設型中高一貫教育や、双葉郡八町村の中学校との連携型中高一貫教育、トップアスリートを育成するビクトリープログラム、三つの系列から選んで学ぶ総合学科教育、三島長陵高校における学びなど、他にはない特色ある教育を行っています。加えて、中学校ではグローバル・スタディやリーダー学、高校では六つのゼミに分かれて地域課題の解決を図る未来創造探究など、魅力溢れる教育活動も展開しています。さらには、県内全域から集められた教職員と生徒の学びを支えるたくさんの学校スタッフや連携機関、そして県内随一の設備を備える新しい校舎など、学びの環境は極めて充実しており、他校を圧倒しています。

中学校第四期生、高等学校第八期生となる君たちには、この恵まれた環境の中で、自立・協働・創造の校訓の下、自らを変え、地域を変え、社会を変えていく変革者を目指して、充実した学校生活を送ってほしいと考えています。私たち教職員一同、君たちの心に寄り添い、夢や希望の実現に向けて、精一杯サポートしてまいります。

君たちが過ごすふたば未来学園では、今年度、次の三点を重点目標に掲げました。

- 一つ、一人一人の生徒が輝く教育実践
- 一つ、共生社会で活躍できる人材育成
- 一つ、安全に安心して学べる環境整備 です。

これらに込めた、君たちへの思いを伝えます。

まず、生徒が輝く教育についてです。君たちには、授業や部活動はもちろん、生徒会活動や学校行事、ボランティア活動や課題研究など、様々な場面で積極的にチャレンジしてもらいたい。たくさんの成功と失敗の経験を通して自分自身を理解し、自分の強みを見出してほしいと思っています。そして、震災当時、双葉郡の学校では仮設校舎や他校を間借りするなど、恵まれない環境の中で必死に学んだ生徒がいたことや、世界には紛争や貧困に苦しみ、学ぶことすらできない同世代の若者がいることに思いを馳せ、一人一人が自立して、自ら主体的に学ぶ姿勢を持ち、当たり前の毎日を大切にしてください。目標に向かって精一杯努力

し、自分の人生の主演として光り輝いてほしいと願っています。

次に、社会で活躍する人材についてです。君たちには、全国各地から集まる幅広い年代の仲間と切磋琢磨しながら、自分の強みを発揮してもらいたい。しかし、自己主張するだけでは、独りよがりの単なる我が儘となり、強みを生かすことはできません。中国の思想家 孔子の言葉を集めた論語の中に、「人の己を知らざるを憂うべからず、己の人を知らざるを憂うべし」という言葉があります。周囲が自分を理解してくれないことを悲しむよりも、自分が他人を理解できないことを悲しむべきだという意味です。人にはそれぞれ良さがあり、元々良く外見上に現れる場合もあれば、内に秘めることもあります。自己中心的な考えから一歩引いて、他者を理解することにより、自分の強みの発揮の仕方が分かり、より活躍することができるのです。多くの人と力を合わせて協働し、将来的には震災復興を始め、地域や世界で活躍するリーダーになってほしいと願っています。

次に、安心して学べる環境についてです。まず、私たち教職員は、君たちが安全に、安心して学ぶことができる学校づくりに全力で取り組んでいく覚悟です。その上で君たちは、毎日を過ごすこの学校を、誰もが居心地の良い空間としてください。互いの良さを認め合い、自分に磨きをかける学舎には、いじめや暴力などは存在するはずもありません。そして、原発事故の風評被害に苦しんだ福島県の学校だからこそ、君たちには、ルールやマナーはもとより、差別や偏見を持たないという暗黙の了解、いわゆる紳士協定を守ってもらいたい。今、世の中では、頻繁に起こる地震や、第七波の到来とも言われる新型コロナウイルス感染症、世界に目を向けるとロシアによるウクライナ侵攻などが、人々の生活を脅かしています。これからの社会を生きる君たちには、本校での学びを通して、解決困難とされる課題を乗り越え、誰もが幸せに暮らせる未来を創造して行ってほしいと願っています。

保護者の皆様申し上げます。これまでのご労苦と本日の喜びは如何ばかりかと拝察いたします。皆様にとってかけがえのない存在であるお子様の教育に、私たち教職員一同、如何なる時も誠意を持って、真摯に取り組んでまいります。家庭と学校が両輪となり、互いに協力し合うことで、相乗効果が生まれてくると考えておりますので、心配事があれば、遠慮なく担任を通してご相談くださるよう、お願いいたします。

そして、新入生諸君、今日から始まる学校生活に対して、君たちと同じくらいご家族の方も不安を感じ、心配していると思います。余計な心配をさせないために、何も言わずに大丈夫とするのではなく、学校生活や寮生活の様子や学校の連絡事項などを言葉で丁寧に伝えて、安心させてください。それが、中学校・高等学校に通学させてもらう生徒としての責任です。

以上、新入生全員が充実した学校生活を送り、一人一人が大きく成長することを心から願ひ、式辞といたします。

令和四年四月八日

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校長 郡司 完